

4. 土地区画整理事業、市街地再開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善のための事業に関する事項

[1] 市街地の整備改善の必要性

(1) 現状分析

○人口減少・少子高齢化の顕在化、地球温暖化問題の深刻化などに対応するため、効率的に都市を運営する視点から、既存ストックを最大限活用し、更なるコンパクトなまちづくりの推進が求められている。

○静岡地区中心市街地は、土地の有効利用や都市機能の更新、交通結節点としての基盤整備は進展が図られており、市街地がコンパクトにまとめられている地形的特性を活かし、商業・業務、コンベンション、医療・福祉、行政機能など、中枢的都市機能が集積している。具体的には、快適な歩行者空間づくりや青葉シンボルロード、公共駐車場、駐輪場の充実、風格ある都市景観づくり、歴史案内など、都市空間づくりの量的な確保については、一定の成果を上げている。

○古くから栄えてきた商業・業務機能が集積する商店街は、用途の混在や建物の老朽化が進み、都市機能の更新、耐震性の向上が喫緊の課題となっている。

○都市空間づくりの量的な確保が進む一方、来街者が求めるニーズは質的な向上に変化しており、静岡地区中心市街地の現状と照らし合わせると、以下の点で不十分な状況にある。

・静岡地区中心市街地離れの原因として、交通アクセス（駐車）や移動、滞在のしにくさ（身体面）が挙げられる。

・特に、市街地の整備改善に係る課題としては、「駅からすぐ地下に入るので来街者が街を見渡せない」、「地下道が迷路のよう」など、JR静岡駅から商業集積エリアへのアクセスに関する指摘を受けている。

・静岡地区中心市街地に求められている施設は、「休憩施設」次いで「レストラン・喫茶店」の順であり、来街者はオープンカフェやベンチなどの「くつろぎ空間」を設けることによりゆったりとした買物や散歩を求めている。

・富士山静岡空港開港を目前に控え、多言語化を進めるなど、まちなかを利用する来街者に分かりやすく、性格に伝達する情報手段を確保する必要がある。

(2) 市街地の整備改善の必要性

これらの状況を踏まえ、快適で移動しやすい‘ゆったり‘都市空間づくりを目指し、市街地再開発事業などにより、憩い、くつろぎ空間を確保するとともに、過ごしやすさ（快適性）や移動しやすさ（移動性）の向上を図り、「人」が主役の憩い・くつろぎのまちを実現するために必要な事業として、以下の事業を基本計画に位置付ける。

(3) フォローアップ

基本計画に位置付けられた事業については、毎年、事業の進捗状況を調査し、各事業主体と十分協議した上で進捗管理を行うとともに、中心市街地活性化に資する効果を検討し、必要に応じて事業の見直しや改善を図ることとする。

[2] 具体的事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関連する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>事業名</u>：静岡都心公共サイン整備事業</p> <p><u>内容</u>：総合案内サイン、地域案内サイン、施設案内サインの設置</p> <p><u>位置</u>：中心市街地全域</p> <p><u>実施時期</u>：H18～22年度</p>	静岡市	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、来街者に対するまちなかの情報提供が不足していることから、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業は、まちなかの位置、施設等に関する情報をまちなかを利用する来街者に分かりやすく、正確に伝達する手段として、公共案内板を統一的なデザインにし、誘導・案内機能の充実を図ることにより、目的の場所に迷わず到着する安心感を提供する。</p> <p>また、多言語化を進めることにより、富士山静岡空港開港を契機に増加する外国人のニーズに的確に対応するものである。</p> <p>この効果としては、来街者へのサービス向上を図ることが可能になるなど、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）</p> <p><u>実施時期</u>：H21～22年度</p>	
<p><u>事業名</u>：しずマチ地下道内装工事</p> <p><u>内容</u>：しずマチ地下道（紺屋町地下道、斜め地下通路等）の空間拡張整備</p> <p><u>位置</u>：紺屋町</p> <p><u>実施時期</u>：H21年度</p>	静岡市	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>しずマチ地下は地下道が放射状に交わっており、閉鎖性、迷路性が強く、ゆとり空間がないことが長年の懸案であった。JR静岡駅北口広場や紺屋町再開発ビルの整備が進むなか、その周辺施設との機能連携が十分進まない原因となっている。</p> <p>そこで、本事業は静岡駅北口広場整備事業と併せ、地下道ネットワークの更なる機能拡充を図るため、地下道の公共空間の拡張により閉鎖性、迷路性を解消し、中心商業地へのアクセス利便性を高める。</p> <p>この効果としては、中心市街地へのスムーズなアクセスや来街者の快適性の向上など、空間機能性の改善を図るために必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：まちづくり交付金</p> <p><u>実施時期</u>：H21年度</p>	
<p><u>事業名</u>：鷹匠1-14地区優良建</p>	静岡鉄道(株)	<p>吸引力のある集客核づくりの施策及び移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整</p>	

<p>建築物等整備事業 (新静岡センター建替え事業)</p> <p><u>内容</u>：大型商業施設、鉄道駅、バスターミナルの立替 〔施行区域：約1.44ha(S:B1 + 10F、FL95,400㎡)商業〕</p> <p><u>位置</u>：鷹匠1丁目</p> <p><u>実施時期</u>： H21～23年度</p>		<p>新静岡センターは、大型商業施設、新静岡駅(静岡鉄道)、バスターミナルが集約して立地している中心市街地の核であるが、建物の老朽化が進み、機能の更新が必要となっていた。</p> <p>そこで、本事業は、この商業・交通の複合機能をもつ建物を一体的に整備(建替え)し、新しい魅力的なお店を揃えた商業床を大幅に増加するなど、まち全体の魅力をさらに高め、賑わい向上を図るものである。</p> <p>この効果としては、公共交通機関の機能を強化するとともに、吸引力ある集客核づくりが進められることから、来客者を惹きつけることに繋がり、都市空間の機能性の改善、快適性の向上及び広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p>備 総合交付金 (都市再生整備計画事業)</p> <p><u>実施時期</u>： H21～23年度</p>	
<p><u>事業名</u>：紺屋町地下道リニューアル整備事業</p> <p><u>内容</u>：紺屋町地下道の内装改修</p> <p><u>位置</u>：紺屋町</p> <p><u>実施時期</u>： H21～23年度</p>	静岡市	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>紺屋町地下道は、県内唯一の個店が並ぶ地下道として、賑わいを保ってきたが、改修後約20数年が経過して老朽化が進み、都市機能の改善が課題となっていた。</p> <p>そこで、本事業は、JR静岡駅北口広場の整備や紺屋町地区市街地再開発事業に合わせ、紺屋町地下道のリニューアル整備を行う。</p> <p>この効果としては、歩行空間の整備により、移動の快適性の向上や空間機能性の改善を図り、「『人』が主役の、憩い・くつろぎのまち」を目標とする本計画に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)</p> <p><u>実施時期</u>： H22～23年度</p>	
<p><u>事業名</u>：静岡呉服町第一地区市街地再開発事業</p> <p><u>内容</u>：大型商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 〔施行区域：約0.7ha(RC:B1+29F、FL58,000㎡)商業、業務、</p>	呉服町第一地区再開発準備組合	<p>吸引力のある集客核づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>呉服町商店街は、県中部の広範な地域を商圈とする商業・業務が集積した中心市街地の北側に位置し、古くから栄えてきた商業地区であるが、建物の老朽化が進み空地が目立つなど商店街としての機能が失われつつあった。</p> <p>また、中心市街地という恵まれた立地条件にありながら、これを活かした土地の高度利用が不十分という課題があった。</p> <p>そこで、本事業は、商業機能・住宅等を一体的に整備し、吸引力のある集</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(駿府ふれあい地区))</p> <p><u>実施時期</u>： H23～24年度</p>	

<p>住宅(約250戸)、 駐車場(約400台)]</p> <p><u>位置</u>：呉服町1丁目、追手町</p> <p><u>実施時期</u>： H21～25年度</p>		<p>客核づくりを進める。</p> <p>この効果としては、市街地の建物更新、土地の有効利用促進により都市防災性向上・中心市街地に相応しい都市景観の創出を図り、中心市街地の都市機能の集積をさらに高めるなど、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：静岡呉服町第二地区市街地再開発事業</p> <p><u>内容</u>：大型商業施設、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 [施行区域：約0.25ha(RC：B1+15F、FL15、600㎡)商業、業務、駐車場(約200台)]</p> <p><u>位置</u>：呉服町1丁目</p> <p><u>実施時期</u>： H21～25年度</p>	<p>呉服町第二地区再開発準備組合</p>	<p>吸引力のある集客核づくりの施策及び都心機能の向上を促進する施策に位置付けられる事業である。</p> <p>呉服町商店街は上述のとおり課題があった。</p> <p>そこで、本事業は、商業機能・ホテル等を一体的に整備し、吸引力のある集客核づくりを進めるとともに、市外からの来街者が安心して滞在できる良好な都市機能の提供を推進する。</p> <p>この効果としては、市街地の建物更新、土地の有効利用促進により都市防災性向上・中心市街地に相応しい都市景観の創出を図り、中心市街地の都市機能の集積をさらに高めるなど、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業等)</p> <p><u>実施時期</u>： H23～24年度</p>	
<p><u>事業名</u>：市道呉服町通線道路整備事業</p> <p><u>内容</u>：呉服町通り(紺屋町地区)における、道路のリニューアル整備 [延長(L=225m)]</p> <p><u>位置</u>：紺屋町</p> <p><u>実施時期</u>： H22～25年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>中心市街地における、主要な動線である呉服町通りの紺屋町地区において、歩行者優先の空間形成を視野に入れた道路のリニューアル整備を行うことにより、中心市街地を回遊する歩行者にとって快適な都市空間形成を目指す。</p> <p>この効果としては、「人」が主役の憩い・くつろぎのまちづくりを実現するため必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)</p> <p><u>実施時期</u>： H22～25年度</p>	
<p><u>事業名</u>：新静岡駅周辺(電線共</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整</p>	

<p>同溝) 整備事業</p> <p>内容：市道追手町音羽町線における電線共同溝整備 [延長(L=310m)]</p> <p>位置：鷹匠1丁目</p> <p>実施時期： H22～23年度</p>		<p>現状は、電線により歩行空間が十分に確保できていない、又は信号機や道路標識が見にくいなど、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業では電線類を地中化することにより、交通環境の安全性の向上を図るとともに、魅力ある商業空間の発展を促進する。</p> <p>この効果としては、快適な歩行空間と景観に配慮した高質な都市空間の形成を図るとともに、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p>備 総合交付金 (都市再生整備計画事業)</p> <p>実施時期： H22～23年度</p>	
<p>事業名：新静岡駅周辺(電線類地下埋設施設)整備事業</p> <p>内容：都市計画道路北街道線における電線類地下埋設施設整備 [延長(L=70m)]</p> <p>位置：鷹匠1丁目</p> <p>実施時期： H22～23年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、電線により歩行空間が十分に確保できていない、又は信号機や道路標識が見にくいなど、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業では電線類を地中化することにより、交通環境の安全性の向上を図るとともに、魅力ある商業空間の発展を促進する。</p> <p>この効果としては、快適な歩行空間と景観に配慮した高質な都市空間の形成を図るとともに、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p>支援措置の内容： 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)</p> <p>実施時期： H22～23年度</p>	
<p>事業名：静岡駅前紺屋町地区道路整備事業</p> <p>内容：静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業に伴う周辺道路整備 [延長(L=284m)]</p> <p>位置：紺屋町</p> <p>実施時期： H21年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>中心市街地の玄関口である紺屋町地区において、市街地再開発事業と併せ周辺道路の拡幅整備を行い、快適な都市空間形成を目指す。</p> <p>この効果としては、中心市街地へのスムーズなアクセスや来街者の快適性の向上など、都市空間の機能性の改善を図るために必要な事業である。</p>	<p>支援措置の内容： まちづくり交付金</p> <p>実施時期： H21年度</p>	
<p>事業名：静岡駅北口駅前広場植栽工事</p> <p>内容：静岡駅北口広場内の国道</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>国道1号(市道中央幹線)の整備完了に伴い、県都静岡市の玄関口である静岡駅北口広場内において植栽工事を行い、中心市街地を回遊する歩行者</p>	<p>支援措置の内容： 社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業)</p>	

<p>1号（市道中央幹線）との取合部の植栽工事</p> <p><u>位置</u>：黒金町</p> <p><u>実施時期</u>：H22年度</p>		<p>にとって快適な都市空間形成を図る。</p> <p>この効果としては、歩行空間の整備により、移動の快適性の向上や空間機能性の改善を図るために必要な事業である。</p>	<p><u>実施時期</u>：H22年度</p>	
<p><u>事業名</u>：静岡駅前紺屋町地区市街地再開発事業</p> <p><u>内容</u>：大型商業施設、宴会場、市立美術館、駐車場等を備えた民間再開発ビルの整備 〔施行区域：約1.05ha①商業、宴会場、事務所、公共公益（市立美術館）（SRC＋RC＋S：B2＋25F、FL41,000㎡）、②駐車場（386台）（S：B1＋9F、FL12,500㎡）〕</p> <p><u>位置</u>：紺屋町</p> <p><u>実施時期</u>：H17～22年度</p>	<p>静岡駅前紺屋町地区市街地再開発組合</p>	<p>吸引力のある集客核づくりの施策及び芸術・文化・コンベンション等を活用した魅力づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>紺屋町地区は、JR静岡駅北口駅前正面に位置し、政令指定都市・静岡の玄関口であるとともに、県中部の広範な地域を商圈とする商業・業務機能が集積した中心市街地の顔であるが、用途の混在や建物の老朽化が進むなど、都市機能の更新、耐震性の向上が喫緊な課題となっていた。</p> <p>そこで、本事業は、商業機能やコンベンション機能、（仮称）静岡市立美術館等の整備と併せ、JR静岡駅北口駅前広場等の市街地環境改善を一体的に進め、静岡駅前の新しいランドマークとして、良好な都市空間を提供する。</p> <p>この効果としては、市街地の建物更新、土地の有効利用促進により都市防災性向上・中心市街地に相応しい都市景観の創出を図り、中心市街地の都市機能の集積をさらに高め、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</p> <p><u>実施時期</u>：H17～22年度</p>	
<p><u>事業名</u>：森下公園再整備事業</p> <p><u>内容</u>：森下公園の施設改修</p> <p><u>位置</u>：森下町</p> <p><u>実施時期</u>：H22～25年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>都市福利機能の充実の施策に位置付けられる事業である。</p> <p>中心市街地の南端に位置する森下公園は、地域住民はもとより、近隣の事業所の従業者、中心市街地への来街者等の憩いの場として、半世紀以上にわたり利用されてきたが、近年老朽化が進み、快適な利用に支障をきたすようになった。</p> <p>そこで、本事業は、老朽化した公園施設の改修を行い、快適な滞在空間として再整備する。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（駿府ふれあい地区））</p> <p><u>実施時期</u>：H22～24年度</p>	

		この効果としては、都市空間の機能改善を図るなど、快適性向上を実現するために必要な事業である。		
<p><u>事業名</u>：静岡駅前南町10地区市街地再開発事業</p> <p><u>内容</u>：共同住宅、業務施設、商業施設、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 〔施工区域：0.3ha（RC：B1＋28F、FL20、400㎡）共同住宅、商業、業務、駐車場（約130台）、駐輪場（約400台）〕</p> <p><u>位置</u>：駿河区南町</p> <p><u>実施時期</u>：H23～27年度</p>	静岡駅前南町10地区市街地再開発準備組合	<p>吸引力のある集客核づくりの施策及び都心機能の向上を促進する施策に位置付けられる事業である。</p> <p>JR静岡駅南口駅前の正面及びシンボルロードに位置づけられている石田街道沿道の東側では再開発事業が完了し、都市機能の更新が行われたが、沿道西側では比較的狭小な宅地や低未利用地が多く土地の有効利用がされていない。また、建物の老朽化が進み空地が目立つなど都市機能の低下が進んでいる。</p> <p>そこで、本事業は、住宅・商業・業務・駐車場機能等を一体的に整備し、吸引力のある集客核づくりを進める。</p> <p>この効果としては、市街地の建物更新、土地の有効利用促進により都市防災性向上、中心市街地におけるまちなか居住の誘導や相応しい都市景観の創出を図り、中心市街地の都市機能の集積をさらに高めるなど賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（市街地再開発事業等）</p> <p><u>実施時期</u>：H23～27年度</p>	
<p><u>事業名</u>：七間町地区まちづくり検討事業</p> <p><u>内容</u>：七間町映画館跡地利用検討</p> <p><u>位置</u>：七間町周辺</p> <p><u>実施時期</u>：H23年度～</p>	静岡市	<p>歴史、文化を活用したまちの魅力づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>映画館を中心として文化的拠点として栄えてきた七間町地区であるが、主要機能である映画館の移転により、一帯の活力低下が懸念されている。</p> <p>そこで、本事業は、中心市街地の新たな拠点を形成するための都市基盤整備・公共空間形成・公共機能導入の必要性等のまちづくり方針を検討・策定する。</p> <p>この効果としては、地区のまちづくりの方針を定めることで、複数の街区・敷地に分かれた映画館の跡地及びその周辺の一体的なまちづくりを推進し、民間・公共の関係者が連携して、中心市街地の新たな拠点形成を図るなど、魅力ある都市空間づくりを進めるために必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業（七間町・七ぶらシネマ通り地区））</p> <p><u>実施時期</u>：H24年度～</p> <p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（駿府ふれあい地区）と一体の効果促進事業）</p> <p><u>実施時期</u>：H23年度～</p>	

(2) ②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>事業名</u>：交通安全施設等整備事業</p> <p><u>内容</u>：電線類地中化及び歩道整備</p> <p><u>位置</u>：①市道昭和町鷹匠町一丁目線 ②市道本通二丁目紺屋町2号線 ③市道両替町通線 ④紺屋町鷹匠町一丁目線</p> <p><u>実施時期</u>：H18年度～</p>	静岡市	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、電線により歩行空間が十分確保できていない、又は信号機や道路標識が見にくいなど、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業は、電線類地中化と歩道整備を一体的に行い、交通環境の安全性の向上を図るとともに、オープンカフェを備えたお洒落な個店の出店等、魅力ある商業空間の発展を促進する。</p> <p>この効果としては、快適な歩行空間と景観に配慮した高質な都市空間の形成を図るとともに、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（道路事業）</p> <p><u>実施時期</u>：H18年度～</p>	
<p><u>事業名</u>：交通安全施設等整備事業</p> <p><u>内容</u>：自転車走行空間の整備</p> <p><u>位置</u>：静岡地区中心市街地</p> <p><u>実施時期</u>：H20年度～</p>	静岡市	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>本市は環境にやさしい交通手段として、自転車利用を促進しているが、現状は、自動車、自転車利用者の分離の観点から、必ずしも自転車利用者の安全が確保できているとは言えない。</p> <p>そこで、本事業は、短期整備計画路線において、自転車走行空間の整備を集中的に行う。</p> <p>この効果としては、身近な交通手段である自転車の利便性向上や歩行者環境の向上などによって居住者、来街者の移動快適性を向上するために必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（道路事業）</p> <p><u>実施時期</u>：H23年度</p>	
<p><u>事業名</u>：静岡呉服町第一地区市街地再開発事業</p> <p><u>内容</u>：大型商業施設、住宅、事務所、駐車場を備えた民間再開発ビルの整備 〔施行区域：約0.7ha（RC：B1＋29F、FL58,000）〕</p>	呉服町第一地区再開発準備組合	<p>吸引力のある集客核づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>呉服町商店街は、県中部の広範な地域を商圈とする商業・業務が集積した中心市街地の北側に位置し、古くから栄えてきた商業地区であるが、建物の老朽化が進み空地が目立つなど商店街としての機能が失われつつあった。</p> <p>また、中心市街地という恵まれた立地条件にありながら、これを活かした土地の高度利用が不十分という課題があった。</p> <p>そこで、本事業は、商業機能・住宅</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業（駿府ふれあい地区（地方都市リノベーション事業）））</p> <p><u>実施時期</u>：H25年度</p>	

<p>m²) 商業、業務、住宅(約250戸)、駐車場(約400台)]</p> <p><u>位置</u>：呉服町1丁目、追手町</p> <p><u>実施時期</u>： H21～25年度</p>		<p>等を一体的に整備し、吸引力のある集客核づくりを進める。</p> <p>この効果としては、市街地の建物更新、土地の有効利用促進により都市防災性向上・中心市街地に相応しい都市景観の創出を図り、中心市街地の都市機能の集積をさらに高めるなど、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：森下公園再整備事業</p> <p><u>内容</u>：森下公園の施設改修</p> <p><u>位置</u>：森下町</p> <p><u>実施時期</u>： H22～25年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>都市福利機能の充実の施策に位置付けられる事業である。</p> <p>中心市街地の南端に位置する森下公園は、地域住民はもとより、近隣の事業所の従業者、中心市街地への来街者等の憩いの場として、半世紀以上にわたり利用されてきたが、近年老朽化が進み、快適な利用に支障をきたすようになった。</p> <p>そこで、本事業は、老朽化した公園施設の改修を行い、快適な滞在空間として再整備する。</p> <p>この効果としては、都市空間の機能性改善を図るなど、快適性向上を実現するために必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金 (都市再生整備計画事業(駿府ふれあい地区(地方都市リノベーション事業)))</p> <p><u>実施時期</u>： H25年度</p>	

(3) 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p><u>事業名</u>：静岡都心公共サイン設置事業</p> <p><u>内容</u>：総合案内サイン、地域案内サイン、施設案内サインの設置</p> <p><u>位置</u>：中心市街地全域</p> <p><u>実施時期</u>： H18～22年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、来街者に対するまちなかの情報提供が不足していることから、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業は、まちなかの位置、施設等に関する情報をまちなかを利用する来街者に分かりやすく、正確に伝達する手段として、公共案内板を統一的なデザインにし、誘導・案内機能の充実を図ることにより、目的の場所に迷わず到着する安心感を提供する。</p> <p>また、多言語化を進めることにより、富士山静岡空港開港を契機に増加する外国人のニーズに的確に対応するものである。</p> <p>この効果としては、来会社へのサービス向上を図ることが可能になるなど、広域商業拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>	<p><u>支援措置の内容</u>：社会資本整備総合交付金 (道路事業と一体の効果促進事業)</p> <p><u>実施時期</u>： H22年度</p>	

(4) 国の支援がないその他の事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
<p>事業名：静岡駅北口広場整備事業</p> <p>内容：JR 静岡駅北口駅前広場の拡張整備</p> <p>位置：黒金町</p> <p>実施時期：H14～22 年度</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、「駅からすぐ地下に入るので、まちを見渡せない」、「地下道が迷路のよう」と多くの声が寄せられ、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業は、政令指定都市・静岡の玄関口として、地上の「中央広場」から、明るく開放的な吹き抜け空間を持つ「地下広場」までを一体として整備し、駅前広場の拡幅を進めるとともに、地下道ネットワークの強化を図り、まちへのアクセス利便性を高める。</p> <p>この効果としては、鉄道・バスの結節機能の強化、駅から中心市街地へのスムーズなアクセスが可能になるなど、空間機能性の改善を図るために必要な事業である。</p>		
<p>事業名：(仮称) まちなか商業空間モール化推進事業</p> <p>内容：自動車抑制、歩行者優先の交通社会実験及び中心市街地モール化構想の検討</p> <p>位置：中心市街地全域</p> <p>実施時期：H20～</p>	<p>(今後静岡市、地域関係者からなる協議会を組織する予定)</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p> <p>アンケート結果から、中心市街地に欲しい(増やしてほしい)施設やサービスで最も多かったのは、休憩施設、次いでレストラン、喫茶店等であり、来街者は「くつろぎ空間」を設けることによりゆったりした買物や散策を求めていることがわかる。</p> <p>そこで、本事業は、中心市街地における、シンボリックな歩行者動線の基軸である県下随一の商店街の呉服町、七間町通り及び大型商業店舗が特に集積するけやき通りにおいて、歩行者優先の都市空間づくりの第一歩として社会実験を実施し、恒久的な実施に向けた課題・問題点の整理を行う。また、街区の活性化、歩行者中心のまちづくりに向けて、中心市街地のモール化構想などの検討を進める。</p> <p>この効果としては、「人」が主役の憩い・くつろぎのまちづくりを実現するなど、高質な都市空間の形成を図るために必要な事業である。</p>		<p>今後、国の支援メニューの活用を想定</p>
<p>事業名：静岡駅南口広場整備事</p>	<p>静岡市</p>	<p>移動性、回遊性の向上に位置付けられる事業である。</p>		

<p>業</p> <p><u>内容</u>：JR 静岡駅の駅前広場の拡張整備</p> <p><u>位置</u>：南町</p> <p><u>実施時期</u>：H22～28（予定）</p>		<p>現状は、J R 静岡駅への送り迎えの自家用車、タクシー、バス等が混雑し、慢性的に渋滞を引き起こすなど、来街者の利便性が損なわれている。</p> <p>そこで、本事業は、静岡駅北口広場整備事業と連携し、駅前広場の拡幅を進め、まちへのアクセス利便性を高める。</p> <p>この効果としては、鉄道・バスの結節機能の強化、駅から中心市街地へのスムーズなアクセスが可能になるなど、空間機能性の改善を図るために必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：歴史案内板の設置事業</p> <p><u>内容</u>：駿府 96 ヶ町の町名碑・由来プレートの設置</p> <p><u>位置</u>：静岡地区中心市街地内全域</p> <p><u>実施時期</u>：H10～</p>	静岡市	<p>自然、歴史を活用した魅力づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>中心市街地は、江戸時代初期に徳川家康公が大御所として入府し、城下町として現在のまちの姿を形成するなど、豊かな歴史的財産を有しているにも関わらず、その情報が十分発信されていない状況があった。</p> <p>そこで、本事業は、駿府城下町の歴史と個性を広く来街者に発信し、歩いて楽しい付加価値の高い都市空間を形成する。</p> <p>この効果としては、空間機能性の改善を図るとともに、都市・文化機能の充実のために必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：観光バス駐車場整備・運営事業</p> <p><u>内容</u>：観光バス駐車場の整備、運営</p> <p><u>位置</u>：追手町（旧青葉小学校跡地）</p> <p><u>実施時期</u>：H19 整備 H20～運営</p>	静岡市	<p>アクセス利便性の向上の施策に位置付けられる事業である。</p> <p>現状は、一般車の駐車場は公共、民間により整備されているものの、観光バスに対応した駐車場が不足しているため、観光客の誘致が進まない状況にあった。</p> <p>そこで、本事業は、旧青葉小学校の跡地の一部を観光バス駐車場として整備し、観光客の利便性の向上を図る。</p> <p>この効果としては、新たな観光ルートの設定が可能になるなど、広域からの来街者の利便性向上が図られることから、広域観光拠点の賑わいの向上に必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：「清流の都」創造プロジェクト</p> <p><u>内容</u>：清流を活用したヒートア</p>	静岡市	<p>自然・歴史を活用した魅力づくりの施策に位置付けられる事業である。</p> <p>「清流の都」創造プロジェクトは、静岡市環境基本計画のリーディングプロジェクトとして、日中のヒートアイランド化を抑えることで、夏でも日</p>		

<p>イランド対策</p> <p><u>位置</u>：中心市街地全域</p> <p><u>実施時期</u>：H21～</p>		<p>本一暮らしやすい都市の実現を目指している。</p> <p>そこで、本事業は、ヒートアイランド対策を推進していくための取組として、平成の名水百選に選定された「清流・安倍川」の豊富な伏流水を活用したドライミストを設置し、気温を2℃～3℃低下させるとともに、視覚的潤い効果を期待する。また、既設の噴水や保水性塗装、屋上緑化等を含め、総合的にヒートアイランド対策を進めることにより、夏でも日本一買い物しやすい商店街を実現し、中心市街地の魅力向上に必要な事業である。</p>		
<p><u>事業名</u>：史跡保存活用整備</p> <p><u>内容</u>：駿府城跡を史跡として保存活用していく取組</p> <p><u>位置</u>：追手町</p> <p><u>実施時期</u>：H14～</p>	<p>静岡市</p>	<p>歴史・文化等を活用した魅力づくりの施策に位置付けられる。</p> <p>本事業は、市を代表する歴史的資源である駿府城が有する価値を再評価し、史跡として保存活用していくための取組を行う。</p> <p>この効果としては、中心市街地の魅力を高めるなど、都市・文化機能の充実に必要な事業である。</p>		